



第9期神奈川区地域づくり大学校

第4講

「アイデアを磨く」～対話×ひらめき×対話～

第4講概要

日時 : 2024年1月21日(日) 13:00~16:00
 場所 : かなーちえ(神奈川区地域子育て支援拠点)
 ゲストスピーカー:
 岩本 渚 氏(社会福祉法人横浜市神奈川区社会福祉協議会)
 韓 昌熹 氏(認定NPO法人市民セクターよこはま)
 ファシリテータ : 塚原 泉 氏(NPO 法人親がめ理事長)

当日のプログラム

- あいさつ・今日の流れ・アイスブレイク
地域ケアプラザ・区民活動支援センター
参加コーディネータ紹介
- 繋げる施設・人・役割 ①岩本氏 ②韓氏
- お知らせタイム
- プチ発表ワーク(4~5人グループ+コーディネーター)
- 情報提供・事務連絡・ひと言感想

■ ①神奈川区社会福祉協議会コーディネーター 岩本 渚氏

神奈川区にある中間支援組織いろいろ : 活動(やりたいこと)の内容・フィールドがポイント

区社協

- ・神奈川区域の福祉保健分野(高齢・障がい・児童関係団体・施設等)とのネットワーク

地域ケアプラザ

- ・区内地区ごとに担当エリア
- ・より身近で地域密着
- ・福祉保健分野団体とつながり

区民活動支援センター

- ・生涯学習や趣味・特技を活かした活動への支援
- ・福祉保健分野に限定されない

人

- ・こんな人とつながりたい
- ・仲間を増やしたい
- ・特技を持った人の力をかりたい

モノ・コト

- ・活動場所や打合せ場所がほしい
- ・チラシを印刷したい
- ・機材を借りたい

活用方法いろいろ!

- ・活動資金がない⇒助成金・補助金
- ・クラウドファンディング・寄付
- ・活動の情報発信・PR
- ・先行事例を知りたい
- ・活動見学したい

カネ

情報

※福祉は支援が必要な人の特別な分野と思われがちだが・・・
 アクションプランに〇〇(農業・ICT・防災 etc...) ×ふくしの視点を
 ㊦つうのくらしの㊧あわせ⇒地域で活躍する人がひろがる

区社協でできること

- ・区ボランティアセンターの活用: ボランティアコーディネーター、ボランティア保険加入
- ・福祉保健活動拠点(はーと友)の会議室や印刷機の貸し出し
- ・「神奈川区ふれあい助成金」の活用: 新規立ち上げ助成あり
助成金説明会(リアル・動画)3月予定⇒2月区報掲載
- ・非営利活動の周知協力やチラシ配架
- ・地域ケアプラザと連携した活動支援



■ ②学生～地域大受講～市民活動～コーディネーター として伝えたいコト 韓 昌熹氏

- ・建築会社に就職⇒住みやすい建物って？住みたい建築物・まちづくりは合意が必要⇒まちづくりを学ぶ動機に
- ・世田谷のまちづくり事例を知り、留学
- ・みどりひと・まちスクール（地域づくり大学校）受講：卒業生ネットワーク
⇒みどり国際交流ラウンジ地域コーディネータ、かながわ外国籍県民会議委員、
横浜プランナーズネットワーク、横浜市まちづくりコーディネーターなど

学びと気づきのステップアップ⇒できることから活動し、学びを広げる

活動資源

- ・地区センター／社会福祉協議会／神奈川区民活動支援センター／地域ケアプラザ
※仲間と場所を借りて話し合う、共催でイベントを行うなど

目標と仕組み 活動の目標を明確に、組織内でしっかり共有する

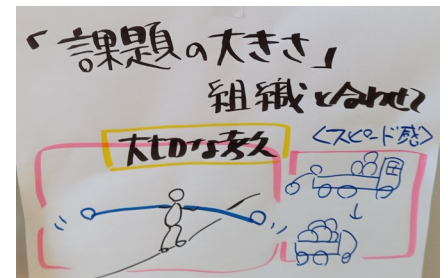
- ・ex)子どもの貧困という目標⇒フードパントリー活動を行う
その過程でフードパントリーを行うこと自体が目標になってしまうと、本来の目標を見失ってしまう

戦略と組織

- ・ex)ボールペンを売る 一本なら売れる 10本では？がんばれば売れる では10000本では？
課題の大きさに合わせた戦略や組織の規模が必要 活動の範囲は町域？区域？市域？

大事に考えていること

- ・学びと活動のバランスを：活動と学びを両輪に、活動ばかりではしんどい
- ・活動の価値をおとさない：活動のスピードも大事、早すぎると荷台からおとしてしまう



横浜市市民協働推進センター

- ・協働：パートナーシップ ④行政—⑤市民・団体・大学・企業等
- ・市域の課題、一緒に取り組むスタンスで

区民活動支援センターより

- ・区で活動の相談できる 4人の相談員
- ・登録団体になるとメルマガを送信：助成金情報も

■ “私のまだまだこれからプラン”に「いいね」と「協力できるよ」をもらいあおう♪ワーク

- ・グループ内でひとりずつアクションプランを発表（2分）
- ・残りのメンバーが「いいね！」と「私が協力できること」をふせんに書いてプレゼント（3分）
- ・地域ケアプラザ・区民活動支援センターコーディネーター・ゲストスピーカーもグループに入り、アドバイス



■ 地域大の今までをふり返って～ + 全員でプチ発表

今までの学び

- ・ひとりひとりの体験や経験が宝
- ・活動していく中で困難にぶつかるときもある
⇒そんなときこそ、活動を支えてくれる人やコトがわかる
※それもすべて活動しているから味わえること
- ・自分の原動力に火をともし続ける
⇒いろんな関わりの中で地域活動＝「自分自身と出会っていく旅」



■ゲストスピーカー&コーディネーターからの一言応援メッセージ

「今日グループの中でもつながっていてすごい。こちらが力を貸してほしい」

「みなさんのアクションプランすごい。この後すぐお声をかけたい方も」

「地域のことを自分事にしてくれていてうれしい。楽しんでほしい。卒業生の会でお部屋貸している。ぜひ頼って」

「神奈川区捨てたもんじゃない。これ聞いていいのかなと思うことも気軽に聞いてほしい。一人じゃないと応援したい。地域の中での展開が楽しみ」

「地域を愛している人がたくさんいてうれしい」

「口に出すことって大事。区活を支えてくれそうな人もいて大変心強い」

「行動する力すごい。補助金は早めに準備してぜひ活用を。ぜひ活動に声をかけてほしい」

「ヒト・モノ・カネ・の人は仲間づくりから。ここにいる仲間とのつながりを大切に。どんどんやりたいことを口に出してほしい」

「みなさん、イキイキしている。つらい時期は必ず来るが、仲間の活動に参加して勇気をもらおうといい」

■ふり返しシート記入&わかち合いタイム 受講生気づき抜粋

- ・人と人とのつながりを重要視するのは皆同じだと知りました
- ・地域活動は楽しくやる。無理をせずに行うのが大切ということを実感しました。
- ・アクションプランに関して、頭の中では思いついていてもそれを言葉・文字にするのは難しいと感じた。ただ、今回のおかげでアクションプランに必要なものが分かった。
- ・地域のコーディネータ、たくさんあるんだなと知った・〇〇×ふくしを考えてみたい
- ・韓さん、岩本さんのお話から、地域活動のノウハウのエッセンス、行政サイドのご支援の仕組みを知ることができました
- ・各自のアクションプランを聴いて、よく考えているなと感じた。自分の長所や課題に対して的確に計画・企画している皆さんの神奈川区愛を感じられて、楽しい気分になりました。
- ・実現するためにはどのような手順が必要なのか、具体的なことを考えていけました
- ・地域ケアプラザがいろいろなことをやっているのを知ることができました
- ・人に聞く、他の人に頼る、そして解決策を見つける方法があると感じました
- ・今まで知らなかっただけで同じ視点から同じ志を持つ方は、思ったよりたくさんいらっしゃるのだと思いました
- ・自分は「きっかけ」となり、自分のもとにあつまるところが自分で考えて自走するサポートをすることも、一つの活動になると感じました
- ・社協、ケアプラザを活用したいと思いました。防災×福祉、リアルに必要と感じています。
- ・人と物とお金がキーワード、とても大切だと思いました。いつかつらい時期がきても、人の応援をして自分とつながれるようになれる。考えていることの価値をおとさない。
- ・行き詰ったら相談してみようと思います
- ・ゴールについて決めたとき、課題はどこにあるのか、つめていく
- ・こわがらずに、自分の発想をどんどん発信して仲間をふやしていきます!!
- ・背中を押してくれる人や肯定してくれる人の存在はありがたい